

ふるさと 通信員だより

vol.225

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話題を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアをお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



万年老人クラブ（大場博義会長、会員25人）は、万年地域会館で歌人の時田則雄さん（帯広市）を講師に招き講演会を開催。20人が楽しみました。大場会長が「地域の中でふれあいを大切に次世代につないでいきたい」とあいさつ。講演会では、時田さんの作品の一つ「トレーラーに千個の南瓜と妻を積み霧に濡れつつ野をもどりきぬ」の歌に読者から「南瓜数えたのかい」と問われるなど、ユーモアあふれる語り口調で自身の作品35首を紹介しました。文芸活動60年以上の時田さん。十勝の風土と躍動的な歌風が、読む人の心に響きます。これまでの作品は、約7、8千首だそうです。



たかだ てつこ
高田 徹子 通信員

歌人の時田則雄さん 招き講演会



中正康葵さんは、音更ハンドボールクラブおよび十勝中学校ハンドボール部合同チーム（幼児・小中学生計79名）のコーチとして子どもたちの指導に携わっています。同クラブは設立5年目、中正さんも設立当初からチームを支えています。中正さんは「指導を通して子どもたちの成長を見ることができて嬉しい」と話してくれました。そして同クラブ監督の横井大祐さんは「チームの勝利には中正コーチの指導が欠かせない」と感謝しています。



いしだ ひさよ
石田 尚世 通信員

ハンドボールクラブ のコーチ